

# 東日本大震災の対応

4月19日(火)現在



岩手県釜石市で健康診断を行う医療救護チーム  
(4月4日、釜石市交流センター)

東北地方大平洋沖地震の発生から1カ月以上経過しましたが、被災地では今もなお多くのかたが避難所生活を送っています。また、比較的被害が小さかった地域も、いまだ余震が続くなど、不安なままの生活が続いています。

市では、被災された方々が1日でも早く平常の生活を送ることが出来るよう各種支援・協力を続けるとともに、今後も警戒体制を継続し、大館市民の命と生活を守っていきます。

## 被災地に職員を派遣

被災地では地震により電気や水道、道路などのライフラインに深刻な被害を受けたほか、多くの行政施設も津波などの被害を受け、行政機能がまひしています。そのため、市では被災地へ職員を派遣し、救助や医療活動などの人的支援を行っています。

岩手県山田町では3月11日(金)の地震発生直後から、消防士や救急救命士が捜索や救助、救急活動を行っているほか、岩手県北上市の県立中部病院へ看護師を派遣し、岩手県釜石市にも医療救護チームを派遣して医療活動を行っています。

また、岩手県山田町では給水活動を、宮城県内では下水道の管路を調査しています。

## 計画停電の状況と 計節電のお願い

東北電力では、電気の供給力不足により、予期せぬ大規模な停電に陥らないよう「計画停電」を実施する可能性があるとしていましたが、当分の間、電力需要が落ち着くことから、5月中の実施の可能性は低いとしています。

ただし、電力需要の増加によっては、今後も「計画停電」が行われる可能性があります。実施するときは随時発表することになっていきます。

テレビやラジオなどで常に最新の情報を把握するとともに、日ごろから節

## 食料品や日用品などは 必要量が確保されています

被災地に物資を優先的に配送しているため、一時的に納品が遅れているだけで、国内には必要十分な量が確保されています。買いためる必要はありません。

徐々に物流は平常化しますので、正確な情報に惑わされず、冷静に対応しましょう。

## 救援物資の受け付け 状況

被災地への救援物資を提供いただきありがとうございます。皆さんから寄せられた米や毛布、衣類など、1349箱分を被災地へ発送しました。

なお、被災地で救援物資を保管する倉庫がいっぱいになったため、救援物資の受け付けを一時的に停止しています。再開は改めてご連絡します。

企画調整課企画調整係

☎ 43-7027

## 市立扇田病院の対応

5月9日から夕やけ診療を再開します。

受付時間 月・水・金曜日

17時～19時

市立扇田病院

☎ 55-1255

電を心掛けましょう。  
東北電力コールセンター  
☎ 0120-175-566